

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所 東  
 コード番号 4720 URL http://www.johnan.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 勝己  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,260	5.3	△287	—	△276	—	△292	—
27年3月期第1四半期	1,197	—	△203	—	△194	—	△208	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △285百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △198百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△36.29	—
27年3月期第1四半期	△25.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,762	3,953	68.3
27年3月期	6,229	4,319	69.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,933百万円 27年3月期 4,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,413	7.4	277	△12.6	302	△12.6	206	△18.3	25.67
通期	6,657	7.7	354	11.8	410	6.8	313	6.7	38.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	8,937,840株	27年3月期	8,937,840株
28年3月期1Q	884,647株	27年3月期	884,647株
28年3月期1Q	8,053,193株	27年3月期1Q	8,053,193株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策と日銀の金融政策などの影響により、企業収益や雇用情勢が改善に向かい緩やかな回復基調を維持しているものの、中国経済の成長減速やギリシャの債務問題などの不安のもとで依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当業界におきましては、保護者の教育投資に対する選択眼が一層厳しさを増している上に、受験に偏らない様々なニーズが増加していることによって、出版・IT等の異業種を含めた新たな競争市場が形成され始めております。

このような状況で当社グループは、きたるべき新制度入試に備えて、カリキュラム・教材の改訂に着手するとともに、「塾・予備校」以外の分野の顧客開拓にも注力してまいりました。

予備校部門におきましては、激動する市場の中にあって、安定的な集客を維持しております。とりわけ、開校3年目を迎えた南浦和校では前年を大きく上回る入学者を迎え、予備校次世代校舎における新たな展望を拓けております。

差別化コンテンツの連続的な投入によって生徒増基調にある個別指導部門におきましては、継続生・新規生とも前年を上回るだけでなく、直営教室において小中学生の比率も55%を超えて着実に上昇を続けております。またフランチャイズ教室も全国展開を加速し、この第1四半期には6教室を開校し、前年比25%超の生徒増を実現させております。

長期顧客として将来性が期待できる児童教育部門におきましては、各ブランドの浸透が進み、売上を増加しております。最も先行して導入した乳幼児育脳教室「くぼたのうけん」におきましては、前期3月に開校したお茶の水教室も順調に集客し、現在の全5教室からさらに次の開校を目指す段階に入っております。「くぼたのうけん」を取り入れ教育色の強い「城南ルミナ保育園立川」は、高い継続率をあげ、地域の待機児童解消における貢献度を高めております。時代の要請が強い幼児英語教室「ズー・フォニックス・アカデミー」では子会社ジー・イー・エヌとともに、前年度に新規開校した南浦和校を始め、予定通りの集客を遂げております。さらに当第1四半期に開校した幼児算数教室「SPICA」により、低年齢層に対する教育事業の一層の拡大・充実を図って参ります。

また前年度に引き続き、eラーニング「城南マナビックス」「くぼたのうけんWEB」では安定した受講生を維持すると共に、新たに開発したスマートフォン用学習アプリ「わーどばんくの塔」の提供を開始し、需要の高い映像授業部門とともに教育のICT化を推し進めて参りました。

さらには今年度から本格的な募集を開始した「城南医志塾」「城南AO推薦塾」から、ニーズの高まっている「城南就活塾」まで、総合教育企業として多様な事業領域展開を加速しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,260百万円（前年同期比63百万円増）、営業損失が287百万円（前年同期の営業損失は203百万円）、経常損失が276百万円（前年同期の経常損失は194百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失が292百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は208百万円）となりました。

なお、当社グループは教育関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、5,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ466百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少が429百万円、売掛金の減少が23百万円あったことなどによるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、1,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円減少しました。これは主に未払法人税等の減少が45百万円あったことなどによるものであります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、3,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ366百万円減少しました。これは主に利益剰余金の減少が372百万円あったことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては第2四半期累計期間、通期ともに、本資料発表日現在において、平成27年5月15日に発表いたしました数値から変更はありません。なお、当社グループの業績には季節変動があり、夏期講習及び途中入学を含む第2四半期以降に売上高・利益とも計上額が偏る傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っておりません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,841,720	1,412,659
売掛金	146,449	123,281
有価証券	90,000	50,000
商品	43,973	61,093
繰延税金資産	64,487	64,850
その他	260,007	257,002
貸倒引当金	△14,492	△7,208
流動資産合計	2,432,145	1,961,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	808,337	815,633
土地	835,421	835,421
その他(純額)	79,363	79,078
有形固定資産合計	1,723,122	1,730,132
無形固定資産		
のれん	141,857	137,129
その他	129,906	130,678
無形固定資産合計	271,764	267,807
投資その他の資産		
投資有価証券	327,652	333,457
敷金及び保証金	833,591	831,742
投資不動産(純額)	476,253	475,544
その他	179,003	176,449
貸倒引当金	△14,027	△14,027
投資その他の資産合計	1,802,473	1,803,166
固定資産合計	3,797,360	3,801,107
資産合計	6,229,506	5,762,785
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,951	20,335
未払法人税等	61,736	15,785
前受金	463,753	538,373
賞与引当金	30,616	18,138
校舎再編成損失引当金	3,787	794
資産除去債務	4,598	2,114
その他	664,283	535,131
流動負債合計	1,240,725	1,130,672
固定負債		
退職給付に係る負債	257,220	262,822
資産除去債務	315,469	320,107
繰延税金負債	41,196	43,190
その他	55,046	52,284
固定負債合計	668,932	678,404
負債合計	1,909,658	1,809,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	655,734	655,734
資本剰余金	652,395	652,395
利益剰余金	4,143,186	3,770,418
自己株式	△309,420	△309,420
株主資本合計	5,141,896	4,769,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,650	66,894
土地再評価差額金	△902,493	△902,493
その他の包括利益累計額合計	△839,842	△835,599
非支配株主持分	17,794	20,179
純資産合計	4,319,848	3,953,708
負債純資産合計	6,229,506	5,762,785

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,197,537	1,260,901
売上原価	1,037,228	1,106,570
売上総利益	160,309	154,330
販売費及び一般管理費	364,127	442,233
営業損失(△)	△203,817	△287,902
営業外収益		
受取利息	499	729
受取配当金	3,726	3,966
受取賃貸料	10,084	9,900
その他	2,435	3,708
営業外収益合計	16,745	18,305
営業外費用		
支払利息	28	64
不動産賃貸原価	6,987	6,939
その他	491	-
営業外費用合計	7,508	7,004
経常損失(△)	△194,580	△276,600
税金等調整前四半期純損失(△)	△194,580	△276,600
法人税、住民税及び事業税	10,677	13,612
法人税等調整額	415	△362
法人税等合計	11,092	13,250
四半期純損失(△)	△205,673	△289,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,842	2,385
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△208,516	△292,236



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△205,673	△289,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,252	4,243
その他の包括利益合計	7,252	4,243
四半期包括利益	△198,420	△285,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201,263	△287,992
非支配株主に係る四半期包括利益	2,842	2,385

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

当社グループは、教育関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

当社グループは、教育関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
	金額	金額
予備校部門(現役高校生)	482,493	465,354
予備校部門(高校卒業生)	138,393	142,748
個別指導部門(直営)	275,367	304,380
個別指導部門(FC)	62,214	67,345
映像授業部門	106,272	137,807
デジタル教材・乳幼児教育部門	122,814	127,622
その他	9,980	15,642
合計	1,197,537	1,260,901

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。